



慶應義塾大学 外国語教育研究センター主催

## Academic Writing Contest 2012 応募要領

### A) 課題

特定のテーマは設定しません。アカデミック・ライティングのテーマとして適当と思われるものを、各自の興味に応じて選んでください。なお、小論文作成の際には、必ずいくつかの先行研究等を参照し、引用して、各自の専門分野に沿った Documentation Style で引用文献を明示してください。

**参考** 「アカデミック・ライティング」とは？

アカデミック・ライティングとは、あるトピックについて、先行研究や、数的および量的なデータに基づいて、客観的に自己の主張を明らかにする論文を作成することを言います。論文のテーマは各自の興味・主張に基づきますが、先行研究の引用やデータによる学術的な裏づけを行い、読み手を説得する必要があります。そのため、作成にあたっては、論文の研究分野に沿った形で引用を行い、正しい Documentation Style で引用文献を明示することが重要です。その上で研究課題に関して、独自の考えを自分の言葉で読み手を納得させ、その新鮮な考えを展開させることが求められます。

### B) 応募資格

慶應義塾に所属する一貫教育校高校生・大学学部生・大学院生・通信教育課程生

### C) 応募規程

- ・論文の受付は1人1件までです。(同一人で複数の応募があった場合、該当者の応募を無効とします。)
- ・応募論文は以下の各項目に従い、英語でオリジナルの小論文を書き、提出してください。

#### (1) 原稿の体裁

(ア) MS-Word 等のワープロソフトにより、

- ・ 12 ポイント
- ・ Times New Roman もしくはそれに相当するフォント
- ・ ダブルスペース(1 ページあたり 18~20 行相当)にて作成し、A4 用紙の片面に印刷してください。

(イ) 最初のページの一行目にタイトルのみを記載してください。(氏名や所属は記載しないでください。)

(ウ) 各ページにページ番号を必ず振ってください。

(エ) 序論、本論、結論という構成にしてください。

(オ) 参照資料や参考文献は必ず出典を明らかにし、末尾にリストとして添付してください。また、インターネットからの引用の場合は URL とその取得日も記載してください。参考文献の記述の方法については各自の分野における標準の形式 (APA, MLA, Chicago Style など) に従ってください。

※ (注) 参考文献リスト作成については、J) “執筆上の注意”を必ず確認してください。

(カ) 個人情報、小論文本文中に記入してはいけません。

※ (注) 氏名や所属、学籍番号(生徒証番号)は所定の参加申込書にのみ記入してください。

(2) 語数と枚数 枚数の制限はありません。以下の通り、部門ごとに定められた語数の範囲内で小論文を作成してください。

|        |                   |          |                   |
|--------|-------------------|----------|-------------------|
| 高校生部門  | 1,500 語から 2,000 語 | 大学生部門    | 2,000 語から 3,000 語 |
| 大学院生部門 | 3,000 語以上         | 通信教育課程部門 | 2,000 語から 3,000 語 |

※ 参考文献のリストは小論文の文字数には含めません。

※ 大学生部門のみ、応募数により“理系”・“文系”の分野に分けて審査する場合があります。



### (3) 提出書類

- a) 参加申込書 2 種類(外国語教育研究センターWeb ページよりダウンロード・事務室窓口での配布)  
(※ 11 月 1 日からの配布です。)
- b) 小論文

上記a)b)共に、①電子データ、②紙データの2つの形式を2段階方式で提出をしてください。

#### ①電子データの提出

- ・ Eメールに提出論文と電子データ添付用参加申込書を添付して提出してください。  
送付先: <[works-flang@adst.keio.ac.jp](mailto:works-flang@adst.keio.ac.jp)>、件名(Subject):「AWC 応募」、メール本文中に必ず  
<1>学籍番号・<2>所属・<3>学年・<4>氏名(漢字)・<5>氏名(ローマ字)を記入してください。
- ・ CD-R 等のメディアによる提出も受け付けます。その場合は窓口へ直接提出してください。但し、メディアの返却はできません。USB フラッシュメモリ等によるデータの受け渡しには対応できません。

#### ②紙データの提出

- ・ 添付ファイルで提出した小論文を A4 用紙(片面)にプリントアウトし、左上をホチキス留めした、  
提出論文 1 部と窓口提出用参加申込書を窓口へ提出してください。

※ 参加申込書は、電子データ用と窓口提出用では異なりますので、注意してください。

(4) 受付期間 2012 年 12 月 3 日(月)10:00~12 月 7 日(金)16:30 【締切時間厳守】

(5) 受付開始前・終了後に応募された書類はすべて無効となりますので、ご注意ください。

#### (6) 窓口提出先

外国語教育研究センター事務室窓口(日吉キャンパス:第3校舎2階 三田キャンパス:第1校舎1階)に提出してください。窓口提出は受付期間中の 10:00~16:30 の間に提出してください。

郵送での提出は下記の住所へ 12 月 7 日(金)必着で送付してください。

### D) 賞

- (1) 所長賞 賞状および副賞として賞金 5 万円(全応募者より 1 名、該当者がいない場合もあります。)
- (2) 優秀賞 賞状および副賞として賞金 2 万円(部門別に各 1 名)
- (3) 次席 賞状および副賞として賞金 1 万円(部門別に若干名)

※(2)および(3)については、高校生・大学生・大学院生・通信教育課程の部門ごとに選定します。

E) 審査 本コンテストの審査は、慶應義塾大学の専任教員により厳正なる審査が行われます。

F) 結果発表 2013 年 1 月 21 日(月)(予定) 外国語教育研究センターWeb サイト・キャンパス内掲示板など

※審査の状況により、結果発表と授賞式の日程が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

G) 授賞式 結果発表時に入賞者に連絡をいたします。会場は日吉キャンパス内で行います。

H) 参考文献 当センターweb サイト上<<http://www.flang.keio.ac.jp/>>に、参考文献一覧と過去の受賞論文を掲載しています。また、日吉キャンパス第 3 校舎外国語ラウンジでは印刷したものを閲覧できます。

### I) その他

- (1) 提出する小論文は、他のコンテストや学会、雑誌(電子ジャーナルを含む)等、公の場には未投稿・未発表のものに限ります。
- (2) 著作権は著者に帰属するものとします。ただし、応募した小論文を、外国語教育研究センター主催のワークショップ等イベントで利用する際には出版権を無償利用させていただきます。
- (3) 入賞小論文は外国語教育研究センターのホームページに掲載されます。
- (4) 提出書類は返却いたしませんのでご了承ください。
- (5) 過去に開催した「英語小論文の書き方ワークショップ」を収録したビデオを日吉キャンパス第 3 校舎内の外国語ラウンジで視聴することができます。希望者は、日吉・三田キャンパスの外国語教育研究センター事務室窓口にお問合せください。

## J) 執筆上の注意

本コンテスト応募論文に限らず、レポート・論文の執筆にあたっては、書き方のルールを守って執筆を行ってください。

- ・自己の主張文と他者の引用文は明確に分けて記載する。
- ・他者の主張を引用する場合は、必ず出典を明らかにし、参考文献リストに記載する。
- ・文言を引用する時は、誤字も含めて一字一句正確に引用する。
- ・引用・参考文献リストの記載は、各自が使用するDocumentation Styleの方式に従って記載する。
- ・インターネットからの引用の場合、引用ページのURLと取得日を参考文献リストに記載する。
- ・インターネット上のフリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』や Web Log (ブログ)からの引用は認めない。

これらの執筆にあつたてのルールが守られない場合は、剽窃(盗作)とみなし、本コンテストの審査対象から除外します。また、明らかな剽窃(盗作)と審査委員会で認められた場合は、応募者が所属する学校・学部などの学校長や学部長などに外国語教育研究センター所長より通告いたします。

- ※ 近年、インターネットの普及によりネット上に研究論文が発表されており、そのままコピー&ペースト(多少の手を加えたり、アレンジしたり)して論文を作成、提出することが増加傾向にありますが、この行為も剽窃(盗作)行為となります。剽窃(盗作)は著作権の侵害であり、定期試験での不正行為と同様の扱いとなります。他者の研究論文を引用する際は、ルールに従った記載を必ず行いましょう。

引用については付属の参考文献一覧の書籍より参照してください。

= 問合せ・応募先 =

慶應義塾大学 外国語教育研究センター AWC 担当

**E-mail:** [works-flang@adst.keio.ac.jp](mailto:works-flang@adst.keio.ac.jp) **URL :** <http://www.flang.keio.ac.jp/> **電話:** 045-566-1031

**住所** 〒223-8521 横浜市港北区日吉 4-1-1

以上

# 外国語教育研究センター推奨 参考文献 List of References

## ◆ Publications

| メデアセンター所蔵状況 | 外セ | Title  | 著者   | 出版社                                      |
|-------------|----|--|--|--|
| ○           | *  | アカデミックライティング応用編 文学、文化研究の英語論文作成法  | Andrew Armour, William Shell, 河内恵子, 松田隆美   | 慶應義塾大学出版会                                |
| ○           | *  | アカデミックライティング入門 英語論文作成法   | 磯貝友子   | 慶應義塾大学出版会                                |
| ○           | *  | 英語小論文の書き方 英語のロジック、日本語のロジック   | 加藤恭子, Vanessa Hardy  | 講談社                                      |
| ○           | *  | 英語論文すべに使える表現集  | 小田麻里子, 味園真紀 他  | へい出版                                     |
| ○           | *  | 英語論文に使う表現文例集   | 辻村純男, James Reeside  | ナツ社                                      |
| ○           | *  | 英語論文によく使う表現  | 崎村耕二   | 創元社                                      |
| ○           | *  | 英語論文表現事典   | 樋口真幸, Peter A.Goldsbury  | 北星堂書店                                    |
| ○           | *  | はじめての英語論文 引ける・使える・パターン表現&文例集   | 和田朋子   | すばる舎                                     |
| ○           | *  | A Guide to MLA Documentation (8th ed.)   | Joseph Trimmer   | Wadsworth Publishing                     |
| ○           | x  | 英語論文・レポートの書き方  | 上村 妙子, 大井恭子  | 研究社                                      |
| ○           | x  | やさしく書ける英語論文  | 藤本 滋之  | 松本社                                      |
| ○           | x  | Academic Writing for Graduate Students.  | Michigan Series in English for Academic & Professional Purposes. C. Swales J & Peak. | Ann Arbor: University of Michigan Press. |
| ○           | x  | Writing for Academic Purposes 英作文を卒業して英語論文を書く  | John D. Cone and Sharon L. Foster  | プレッジ書房                                   |
| x           | *  | Basic Writing Second Edition   | Joy M. Reid  | Prentice Hall College                    |
| x           | *  | Dissertations and theses from start to finish : psychology and related fields (2nd ed.)                        | Raymond Murphy   | American Psychological Association       |
| 教科書閲覧可能     | *  | English Grammar in Use with Answers (3rd ed.)  | Ann Hogue  | Cambridge                                |
| SFCのみ所蔵     | *  | First Steps in Academic Writing  | Carolyn M. Spencer, Beverly Arbon  | Longman Pub Group                        |
| x           | *  | Foundations of Writing: Developing Research and Academic Writing Skills  | Murphy Sinalzer  | NITC/Contemporary Publishing Company     |
| ○           | *  | Grammar in Use: Intermediate: self-study reference and practice for students of English with Answers (3rd ed.) | Alice Oshima, Ann Hogue  | Cambridge                                |
| ○           | *  | Introduction to Academic Writing (3rd ed.)   | Joseph Gibaldi   | Longman                                  |
| ○           | x  | MLA Handbook for Writers of Research Papers (7th ed.)  | Joseph Gibaldi   | Modern Language Association of America   |
| ○           | x  | MLA Style Manual and Guide to Scholarly Publishing (3rd ed.)   | Joseph Gibaldi (原著), 原田隆治 (訳)  | 北星堂書店                                    |
| ○           | *  | MLA 英語論文の手引 第6版  | William Zinsser.   | Harpurcolins                             |
| ○           | x  | On writing well : the classic guide to writing nonfiction (30th anniversary ed., 7th ed.)                      | Joy M. Reid  | Prentice Hall Regents                    |
| ○           | *  | Process of Paragraph Writing Student Book Second Edition   | American Psychological Association   | American Psychological Association       |
| ○           | △  | Publication Manual of the American Psychological Association (6th ed.)   | John Grossman  | University of Chicago Press              |
| ○           | x  | The Chicago Manual of Style: The Essential Guide for Writers, Editors, and Publishers (15th Ed.)               | William Strunk Jr., E.B. White   | Longman Pub Group                        |
| ○           | x  | The Elements of Style, Fourth Edition  | Joy M. Reid  | Longman                                  |
| x           | *  | The Process of Composition Third Edition   | Alice Oshima, Ann Hogue  | Pearson Longman                          |
| ○           | *  | Writing Academic English (4th ed.)   | James D. Lest  | Longman                                  |
| SFCのみ所蔵     | x  | Writing research papers : a complete guide (14th ed.)  | Cynthia A. Boardman, Jia Frydenberg  | Longman                                  |
| ○           | x  | Writing to Communicate: Paragraphs and Essays (3rd ed.)  |  |  |

\*マークのあるものは日吉および三田キャンパス外国語教育研究センターにて閲覧可能    △マークのあるものは日吉キャンパス外国語教育研究センターにて閲覧可能  
 ○マークのあるものは日吉メデアセンターに所蔵されている書籍

★メデアセンターで文献を検索する際はKOSMOSIにTitleか著書名をいれて検索し、請求番号をメモして書架へいきましよう。  
 (Edition(版)は上記のものより古い場合があります。)

## ◆ Web Pages

Modern Language Association (MLA) <http://www.mla.org>      APA Online <http://apastyle.apa.org/>  
 APA Style Resources <http://www.psywww.com/resource/apacrb.htm>      The Chicago Manual of Style <http://www.chicagomanualofstyle.org/tools.html>  
 The Writing Center at the University of Wisconsin-Madison <http://www.wisc.edu/writing/>

2012年度追加  
 2012年度追加  
 2012年度追加